

# 金城地域協議会と議会との意見交換会記録

令和4年7月29日（金）  
19時5分～20時3分  
金城支所 304会議室

【出席議員】村武議員、上野議員、岡本議員、佐々木議員、西田議員、笹田議長

---

次第

1 開会

2 地域協議会会長挨拶

3 議長団挨拶

4 自己紹介

5 意見交換

テーマ：①産業振興（観光・農林）について

②人口減少に伴う公共交通について

6 地域協議会副会長終わりの挨拶

7 閉会

## 【議事の経過】

[ 19時 05分 開議 ]

### 1. 開会

上野議員

金城地域協議会と議会との意見交換会を開会する。

初めに1点お知らせする。今日の意見交換会の記録及びはまだ議会だよりに載せるため、写真撮影や録音をさせていただきたい。ご了承をお願いする。

### 2. 地域協議会会長挨拶

上野議員

会長よりご挨拶いただく。

会長

傍聴席にももちろん地元議員がおられるが、昨年も言ったように、この会のメンバーに地元議員がいてほしい。地域のことを考え、見方も違うと思うので。地元外の議員が聞いても理解できない話もあるだろうから、地元議員をメンバーに入れてくれるよう要望していたのだが非常に残念である。今後検討してほしい。

### 3. 議長団挨拶

上野議員

議長よりご挨拶申し上げます。

笹田議長

今年は2回目になる。昨年も今年も地元議員がいなかったため残念だという意見があったが、議会広報広聴委員会の中でそういった議論もあった。地元議員が行ったほうがよいという意見もあったが、浜田市議会としては、1人の議員は地域代表ではなく市代表として全体を網羅すべきだという意見も多々あった。私は長浜の人間だが長浜だけでなく、全ての地域を浜田市だと捉えている。それをどうかご理解いただきたい。

また今回は新規で4名の方が委員になられたとのことで、昨年とは違う意見も出てくるのではと期待している。我々も昨年はいただいた意見を一般質問で取り上げた議員もいるし、皆と課題を共有できたことは非常によかった。本日も短い時間ではあるが忌憚のない意見を聴かせていただきたい。

### 4. 自己紹介

上野議員

各議員を紹介させていただく。

《 以下、議員自己紹介 》

上野議員

では地域協議会委員の皆にも、一言ずつ自己紹介をお願いします。

《 以下、地域協議会委員自己紹介 》

## 5. 意見交換

上野議員

本日は二つのテーマをいただいている。一つは産業振興（観光・農林）について、もう一つは人口減少に伴う公共交通について。時間が限られているので大体一つのテーマ20分としたい。

### ①産業振興（観光・農林）について

上野議員

金城には美又温泉があったり、広浜鉄道今福線があったり、広島から民泊に百数十名の子どもが来た。また金城はツーリズムが盛んで、大変多くの民泊がある。金城にはそういったたくさんの宝があるので、それら含めて皆に発言していただきたい。できるだけ多くの方に質問していただきたい。

委員

高速道路で広島から浜田へ行かれる方が増えている。186号線も賑やか。波佐の道の駅に市場があって、グランドゴルフ場もある。しかし温泉がない。どういういきさつでやめられたのか。せっかく大きいものがあるのに。温泉という看板があるから人は期待する。できないなら看板を下ろすか。

委員

今年春に邑南町へ花を見に行った。ただ見るだけだが人がたくさん来ていた。花を見ていると癒される。私が金城に来た40年前あたりから減反が始まった。花を植えたらどうかと言ったら、それほど簡単ではないと言われた。金城中に同じ花を植えたらどうか。自分は無理だが誰かやってくれないか。浜田市でもできないだろうか40年考えていた。

委員

耕作放棄は後継者不足と、所有者が高齢化して維持管理できなくなっている現状がある。久佐のまちづくりでは小学生から全体にアンケートを取った。仕事で一番大変なのは草刈りとあった。耕地が広いのとつくれないのと、草刈りが重労働で今後5年、10年先になったらどうなるのかという考えをかなり持っている。それによって地域存続も危ぶまれる。荒廃地が増えたらどうするか、議会でもそういう話が出ている様子がない。もうかる農業、林業、有機栽培といった話ばかり。なぜ荒廃地についての話がどの議員からも出てこな

いのか。浜田市全体でこういった話はあると思う。そういう状況になっているところが浜田市の何割か、もしご存じなら教えてもらいたい。荒廃地をどういう形にしたら地域がまた発展していくのか、議員は研修に行っているのか、行っていけば情報共有をお願いする。現状で困っているところがたくさんある。お米をつくるのは必要だがすごくお金がかかる。法人にする手もあるが、それを誰が管理するかが難問である。

委員

一時期、旭、有福、桜江、金城、美又温泉など、全部一式つながる観光バスが回っていた時期もあった。今は農路維持が無理になっている。見た目が悪いので役場をお願いしているがなかなか進まない。いつ通っても草ぼうぼうで、事故がいつあってもおかしくない。せっかく観光の話が出るなら聞いてみようと思った。

委員

一番の問題は単価の下落。30キロつくって5千円、6千円では合うわけがない。それを政府が全くやらない。しかし耕作放棄地が増えるのを黙って見ているわけにいかない。ここは浜田市として何かの支援をしていくことが大事だと思う。隣の田の持ち主がやめたのだが、隣の田の草を放置しておくわけにいかないので、採算など合わないが私もつくっている。私はその程度で済んでいるが。それを5千円、6千円の米代でやっていけるわけがない。頑張っている人にある程度支援していく。農業法人をつくったとしても、安いのでぎりぎり。法人化しても高齢化して担い手不足になる。基本的に単価をしっかりしないと誰もつくらない。これが国の制度でよいのか。浜田市だけで何とか耕作放棄地が増えないような支援の仕方を。市長も副市長も任期が終わればいなくなる。説得力がない。今日は議員がおられるので支援の方法を考えてほしい。受給率を上げて田舎の農家を守る、米を守るような政策に、浜田市でできることがあればぜひやっていただきたい。

上野議員

5人の方から意見をいただいた。議員から何かあるか。

西田議員

波佐の件はもともと地域からの声であそこを始められて、市も協力しながらやっていたが、一時期燃料が高騰して採算が合わなくなり休止された経緯があると記憶している。小波の郷は週末やっておられる。市もどこまで助成できるか、地域の方々がどこまで自分たちの力でやっていけるか。ちょうど瀬戸際で頑張っておられる。あの資源を生かしたいという強い思いの方がおられて、なおかつ資本

があればまた何とかなる気もする。その辺は行政も協力する気持ちは持ちながら地元とコミュニケーションを取りながら、継続は必要だと思う。

佐々木議員

草刈りや道路の管理、米、耕作放棄地問題等々。中山間の問題を統一的に議論した特別委員会が、去年の改選まではあった。ここで中山間地域のいろいろな問題を協議して、一定程度の答えを出し、市長にそれなりの提言を行っている。私はそのメンバーではないので結果はわかるが過程がわからないので、あの特別委員会メンバーだった方で話がわかれば後で話したい。

特に草刈り問題は、確かにはまだ議会だよりはに出ているかもしれないが、毎回複数の議員が取り上げている。耕作放棄地の問題もそうである。ただはまだ議会だよりは1項目しか載せるスペースが取れないルールがあり、載せたいものが載せられない状況にある。議会のホームページ等で項目があれば見ていただければ内容がわかると思う。

私の個人的な思いだが、草刈りの問題はもう5年くらい前に、浜田市草刈り課をつくったらどうかという提案をして、真剣にこれを議論したことがある。まさに草刈り問題はこの先10年どうなるのかという心配の声もある。行政がこの問題にしっかり手をかけていかないと、ますます耕作放棄地が増えるばかり。高齢者の大きな負担になることが大きな問題だと思うので、声を我々も受けとめて、改めて機会があるごとに執行部に提案していきたい。道路の維持管理の問題も出ている。県や国に道路管理の問題も訴えていると思うが、我々もいただいた声を受けとめて、事あるごとに執行部に働きかけたい。

米の単価の問題も先日の弥栄地域協議会との意見交換会にて、大変大きな問題だと出た。せめて価格保証というか、農業者に何かしらの支援をしないと。モチベーションにつながる働きかけをしたい。これも全市共通の問題だと思う。

花の問題は非常に夢があって、すばらしい話だと思う。三隅町井野のひまわりの事例もある。何かしら統一的なことができるかどうか働きかけていきたい。

上野議員

時間があっという間に過ぎた。ここで全部は回答できない。全員協議会にて全議員に共有していきたい。また回答するので次のテー

委員

マに進めたい。

どういう問題、質問が出るかは、それなりに議員もちゃんとしてきてもらいたいと、話を聞いて思った。私の質問については何も出てない。どのくらいの荒廃地が浜田市にあるかとか、議員がそういう研修に行かれたのか。そういう荒廃地をどのようにしていったらよいかを、議会に諮っているかどうか、私は質問した。そういう点は議会だよりに出てなかった。一部しか出てないとはいえ、これは議会だより。ホームページで見てくれと言うが全住民が見るものではない。ケーブルテレビを見ればよいかもしれないが、テレビの前に座って見るほど暇はない。質問には答えてもらいたい。今日はそのための年1回の会ではないのか。この質問に答えは返ってくるのか。持ち帰るとするのは誰でも言える。厳しい言い方だが私はそう思う。年1回の会で、時間がない時間がないと。これだけの人数で時間はないかもしれないが、時間がないという回答は残念だ。

西田議員

しっかり時間が取れる機会であればもう少し話ができただろう。耕作放棄地については、全議員共通の認識として大変な課題だと思っている。毎回ではないがこの質問に関しては一般質問で頻繁にいろいろな議員が出している。どのくらい耕作放棄地が増えているかとか、市内でどのくらい耕作放棄地があるかということは、数字ではなかなか表しにくいのだが、耕作放棄地が年どのくらい増えているか、数字では示されないが相当増えている。ただ、その耕作放棄地もだんだん年を重ねると、木が生えて、耕作地が耕作放棄地になり、耕作放棄地が森になってしまう。そうなると名称が変わってくるので、結局、耕作放棄地は一定には増えているが、森が増えていくような格好になり、耕作放棄地は一定ずつ増え続ける。最終的にどのくらい増えるか。だんだん耕作地が狭くなってきて、耕作放棄地が増え、それ以上に森林が増えている。よって耕作放棄地の量は変わらないが、森林の量に変貌していく。それをどう食いとめるか、議論はしているが答えが出づらい。

委員

難しいと思うので、議会の中で意見を出し合いながら。我々住人が少しでも先のことが安心できるような取り組みも欲しい。

笹田議長

6月定例会議において、上野議員が耕作放棄地について質問されていた。農地の大区画化をすれば耕作放棄地を解消できるのではと言われていた。農業中心の議員は耕作放棄地について重く受けとめて

- いると議長として感じている。伝わらない部分もあるが、そういうことをされている議員もおられることは理解していただきたい。
- 村武議員 先ほど宮本委員から、これについて回答があるのかという発言があったが、最初にも申し上げたとおり、各地域の地域協議会と意見交換させていただき、全員協議会で皆に伝える。その中で議員それぞれが、取り組みたい項目があるだろうから、一般質問なり執行部に問いかけたりするなどしたい。
- 委員 問いについて返ってくるのか心配だった。まとめて回答されるのかなど。しかしその様子がないのでおかしいと思った。
- 上野議員 ここ数年の耕作放棄地の増えぐあいなどは、わかるようにお知らせしたい。
- では二つ目のテーマに移らせていただく。

## ②人口減少に伴う公共交通について

- 上野議員 これについては地元議員も一般質問等で取り上げている。金城だけでなく旭も弥栄も課題を抱えている。ここで発言される方の挙手をお願いする。
- 委員 先般、浜田の公共交通会議に参加して意見を述べた。公共交通、特にバス路線の問題で、当事者の石見交通もおられたので厳しいことは言えなかったが。人口減少に伴って減便・廃止になるのだが、一番大事なのは地域の意見を聴く。また今、石見交通のバス路線はほとんどが赤字路線なので、当然浜田市の意見も聴く。そして石見交通の意見。その三者がしっかり議論した上で出た結論が減便・廃止となるとそれは納得できる。しかし今までのケースは石見交通から一方的に出ている。赤字補填があるのに勝手に減便を決めるのは大変失礼である。経営が成り立たないからやめるというなら、それはそれでよい。そういう説明もなく一方的にやめる。その原因は何かというと、基本的に運転者不足。ではなぜ運転者が不足しているのかを議論したら、明らかに低賃金が理由だった。6,500円で人の命を預かる仕事はできない。拘束時間は平均12、13時間。このような条件で誰が来るのか。それなら6,500円を8千円にするとか、そういう議論から、利用者の声も聴いて、仕方ないという結論に至るならよい。しかしそうではないし、石見交通の企業努力も全くない。今後、石見交通の運転手不足で減便・廃止の負のスパイラルがくる。

新たな廃止案も出ている。失礼である。市としても原因を明らかにする。しっかりやっていてこれだけしか人件費に使えないから人が集まらないというなら、減便・廃止の前に人を集める努力をして、行政も支援しようといった話の中で、三者で話をしないといけない。

ICカードを全バスにつけるとなると莫大なお金がかかる。これを浜田市が負担せねばならない。全部税金である。ここまで税金を使って石見交通を支援しているのに、廃止を一方的に、議論もないまま言ってくるような失礼な事業所には、厳しいことを議会でもしていけないと、負のスパイラルがどんどん進む。全路線なくなるような勢いなので、そこを議会でもしっかり議論して精査して、石見交通に言うべきことは言う、行政の支援はどうか、利用者の声も聞いた上で減便・廃止でいくようにしていただきたい。

委員

波佐地区で昨年4月からボランティアタクシーを正式開始した。これはバス路線と重複するとまずいとのこと、波佐地区内だけでやっている。介護タクシーの来ない日に地元のボランティアタクシーを運行する。今後も路線を継続してほしいと石見交通に求めるのは正直難しいと思う。乗客の人数を見ると。地域の人口を増やす方をぜひ議会と執行部に本気で考えてもらいたい。先ほどの耕作放棄地の問題にしても、農林業にしても、働く担い手がいないと、今厳しいからといってやめてしまうとゼロになる。去年は木材価格が少し戻った。戻ったが林業従事者がいない。山に木はあっても出てこない状況になっている。ウクライナ情勢を見ると小麦不足が懸念されるため、かわりに米価が上がるのではないかと、東北は米を備蓄する方向に動きつつある。そういうときに、田んぼはあるが担い手がいなかったということになってくる。長期的視野で、箱物に高い予算をつけて建てるよりは、都会から若者を呼んでここで生活できるようなことを本気で考えてもらいたい。それが浜田の未来につながっていくと思う。青森の六戸町が今年秋に浜田市に視察を希望している。これは青森県内の市町村の中で一番人口が増えているまち。若い人が浜田市に住みたくなるような施策を打っていただきたい。それができれば人口減少に伴ういろいろな課題が解決していくと思う。

委員

久佐は公共交通がすっかりなくなり、乗り合いタクシーとお出かけバスしかない。乗り方がわからない高齢者がほとんどで、どうやって乗るか民生委員とまちづくりの職員の方が会を開いて、一緒に

乗って勉強している。ほとんどは通院に利用。乗り合いタクシーは助かっている。住みたくなる浜田、住みたくなる金城という名目はあるが、どうやったら住みたくなるかを今後も考えていかないといけない。高齢者は増える、耕作地は放棄される、公共交通がなくなる、すると買い物弱者、生活弱者が出てくる。人口を増やすことをしっかり考えることが必要だと私も思う。

上野議員

議員から何かあるか。

西田議員

先般私も村武議員と一緒に金城のまちづくりセンターにヒアリングで訪問した。その際、波佐のまちづくりセンターにて、ボランティアタクシーの話が出た。高齢者の移動手段を地域の方が提供された車で、全てを地域で賄っている。一つのすばらしい事例だと思っている。地域のアイデアがあればどんどん出していただけたら行政も応援するし、我々議会も一緒になってよりよい方向を目指していきたい。

人口減少で、浜田市の限られたお金、道路の維持管理にしても福祉にしても教育にしても、どの分野にしても財源がかかわる。浜田市の限られた財源をどのように配分するか、どこに重点を置くか。考え方だと思う。よりよいアイデアを地域の皆がまとめて、ある程度行政にぶつけることが大事になってくる。それが協働のまちづくりの考え方ではないだろうか。

佐々木議員

市民サービスが人口減少とともに行き届かない状況になってきている。基本的には地方交付税、日本全国どこに住んでいても平等にサービスが受けられる国からのお金のことで、これは年々減っている。とはいえサービスをしないわけにいかないの、重点的にどこが一番お金を費やすべきなのか。皆の意見を伺いながら、執行部は執行部で考えるが、我々議会も提言できるよう協議していきたい。

石見交通の件はもう少し内容を明らかにして、実態に伴う支援を考えてほしいとのことだった。石見交通への交付金は、年間1億円を超える。市の負担が以前より増えている。その辺はしっかり議論していくべきだが、真水の財源なので、なるべくお金がかからない公共交通のあり方を示してもらおうよう、多くの議員がずっとお願いしているが、なかなか響いていないのか。どこまで追及しているかわからないが、この問題も財源の面から考えると重要なので、今後もしっかり申し上げていきたい。

村武議員

本日のテーマはどちらも本当に重いテーマだと思っている。簡単に解決できるようであればここに話は上がってこない。我々も日々勉強させていただきながら、また地域の話聴きながら進んでいるところである。

金城地域のまちづくりセンターに訪問させていただき各地の話を聴いた。昨年の地域協議会においては公民館からまちづくりセンターに変わったばかりで、コーディネーターについての話が多かったように記憶している。1年たったところでなかなかまだ進んでない地域もあるように感じている。全ての問題が協働のまちづくりで解決することばかりではないと思うが、地域と一緒に課題に対して皆で話し合いながら進んでいくのは大切だと思う。ただ、誰が引っ張っていくのか。悩んでいるまちづくりセンターの職員もたくさんいた。そこを浜田市がしっかり引っ張っていくことを考えないといけないのではと感じている。私は協働のまちづくり推進特別委員会にも所属している。そこはこれからしっかり議員皆で話し合い、市に提言していきたい。

今日の話聞いて勉強になった。自身も研究して進んでいかないといけない。

上野議員

時間が迫ってきた。まだまだ言いたいことがたくさんあると思うが、このあたりで終了させていただきたい。

委員

敬老乗車券について。交通弱者への支援策としてやっているが、広島へ行くバスなどにも利用できるのはおかしいという声がある。あくまでも市内の身近な生活支援なので、県外は除外していただきたい。それなら本当に困っている人にもっと手厚くしてほしい。県外への利用だけは絶対やめていただきたい。議会から市へ言ってほしい。

## 7. 閉会

上野議員

閉会の挨拶をお願いします。

副会長

耕作放棄地や人口減少など意見がたくさんあった。傍聴席にしか地元議員がないという話が冒頭にあったが、議員は市の代表として、浜田市全体のことを考えていかななくてはいけないのかなと思った。今日出た意見を持ち帰っていただき、ただ持ち帰るだけでなく何らかの形として次回の意見交換会で進展を聞かせてほしい。

上野議員

大変貴重な意見をたくさんいただいた。今日いただいた意見は全員協議会において議員全員で共有していきたい。また、一般質問等で取り上げていきたい。以上で金城地域協議会との意見交換会を終了する。

[ 20時 03分 閉議 ]